

令和7年6月定例会一般質問

通告5

質問 家庭ごみ収集の効率化と環境美化に向けたゴミステーション導入の検討を

答弁 できる範囲から段階的なステーション化を検討します

1番 たけだ かいと 武田 開人 議員

【質問：武田 開人 議員】

1番、武田開人でございます。通告に基づきまして、家庭ごみ収集の効率化と環境美化に向けたごみステーション導入について質問いたします。

現在、中標津町では家庭ごみの収集において各戸別の収集方式がとられており、各家庭がそれぞれの敷地前などにごみを排出する体制となっています。この方式は一見すると利便性が高いようにも見えますが、ごみ置場が不明確でトラブルの原因となるケースも見受けられます。さらに、敷地ごとに設置された複数の個別ごみ箱が住宅地内に乱立することで、景観を損ねる要因となっています。

また、近年では、集合住宅においても各戸毎のごみ箱が設置されている物件が増えており、一つの建物に複数のごみ箱が点在することで、収集作業にかかる手間や時間が増大し、収集効率の悪化につながっている現状があります。物流の2024年問題による人材確保の難しさや、収集作業の省力化が求められる中、現在の体制を持続可能なものとするには、抜本的な見直しが必要です。

こうした課題を踏まえ、他自治体で広く導入されているごみステーション方式の導入を本町でも積極的に検討すべきではないかと考えます。ごみステーション方式は、地域内に共同の集積所を設け、周辺の住民が協力して排出することで、市町村が一括して効率的に収集できる仕組みであり、排出マナーの改善、美観の維持、収集経費の削減といった多くの利点が報告されています。

実際に登別市では世帯数に応じた設置基準や補助制度を整備し、円滑な運用が行われています。

また、令和6年9月議会の一般質問で町長からは、白樺町内会をモデル地区として、既にごみステーション化に取り組んでいる旨が示され、開発申請時点から協議を行い、24



区画で5基程度のごみ箱を設置する予定であるとの具体的な進捗が報告されました。

このモデル事例を踏まえ、中標津町全体への段階的な導入を進めていくためには、地域コミュニティとの連携や理解促進、さらに高齢者や身体的負担を抱える住民への支援体制の構築が不可欠です。

以上の観点から、本町におけるごみ収集の在り方を、より効率的で公平性のある持続可能な仕組みへと見直すべきと考え、町の見解と今後の方針を伺います。

【答弁：町長】

武田議員御質問の家庭ごみ収集の効率化と環境美化に向けたごみステーション導入の検討をについて御答弁を申し上げます。

昨年9月定例会において江口議員より御質問ありましたとおり、新興住宅地へのごみ箱のステーション化につきまして、事前協議を実施し5基程度のごみ箱の設置を計画いたしました。新築住宅の状況を勘案し、現時点で既に2基の設置を行ったところであります。引き続き、作業員の負担軽減や収集の効率化、持続可能な仕組みを念頭に取り組みを継続してまいりたいと考えておりますが、実現の背景には、町内会の御理解と御協力や新興住宅地であったこと、また、地権者と事前協議を行い御理解を得られたことなどがあります。

一方、町全体のステーション化につきましても調査検討を進めており、長年習慣になっている戸別収集をステーション化へ見直すことは、用地や費用の問題、維持管理方法、また、不要となるであろう個人が購入した既存のごみ箱の問題なども存在しておりますが、できる範囲から段階的なステーション化を検討し、地域の御理解と御協力を得られるよう進めてまいりたいと存じておりますので、御理解をお願い申し上げます。以上です。

【質問：武田 開人 議員】

1番、武田開人でございます。再質問させていただきます。

御答弁の中でも、ごみの収集ステーション化について、調査検討を進めるという趣旨の説明がありましたが、具体的には現在白樺町内会でのモデル地区設定のみとなっている状況と思います。今後、全町でのステーション化に向けて、より具体的な取組の検討状況について質問したいと思います。

例えば、集合住宅について現在の戸別収集の方式から1棟まとめた集積を推奨すること。また、資源ごみについては現在、ほかのごみと同様に戸別収集の形がとられていますが、町内会ごとの集団回収も一部で実施されており、この取組を拡充することも考えられると思います。さらに、ステーション化について町民の意見を広く募集するために、意見

交換会や説明会を実施する必要もあると考えられます。このような具体的な取組の検討はされていますでしょうか。

【答弁：町長】

ステーション化を行っている町内会は計根別町内会も実は行っておりました、今言われたようにですね、できる範囲から資源ごみでありますとか、できる範囲からなるべく丁寧な説明を行いながらですね、ステーション化につながるよう努力をしてみたいというふうに考えております。以上です。